

企画提案に係る質問に対する回答

令和8年2月12日

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 質問1 | <参考見積書について> 各年度の見積り額は同額にすべきでしょうか。 |
| 回答 | 同額にする必要はありません。 |

| | |
|-----|--|
| 質問2 | <参考見積書について> 賃上げや物価高の状況に応じて契約途中に委託額が見直しされる可能性はありますでしょうか。 |
| 回答 | 物価高等の価格転嫁等、社会情勢に応じた委託費の見直しについて、年度途中で協議を行う可能性はあります。 |

| | |
|-----|--|
| 質問3 | <審査項目について> 危機管理体制、個人情報保護に関する項目がありませんが、提案書に盛り込む必要はないという認識でよろしいでしょうか。 |
| 回答 | 募集要領の「8 企画提案書の審査及び選定」(3) 審査項目及び配点に記載の表中、審査項目「業務実行力」下段において評価対象となります。 |

| | |
|-----|--|
| 質問4 | <募集要領 6 (1) イ 企画提案書> 企画提案書には事業者名を記載しても問題ないか、あるいはマスキングが必要かご教示ください。 |
| 回答 | 企画提案書には、事業者名を記載して差し支えありません。 |

| | |
|-----|---|
| 質問5 | <仕様書 6 業務の内容 (1) 居場所づくり事業> 「調理実習等による食事の提供や本業務の目的に資するイベントを実施」とありますが、各会場における想定回数があればご教示ください。また令和7年度を含め過去2年間における「調理実習の実施回数」と、「イベントの実施回数」及び「イベント内容」を会場別にご教示ください。 |
| 回答 | 事業者の創意工夫による企画提案を求めたい内容に関わることから回答を差し控えます。 |

| | |
|-----|---|
| 質問6 | <仕様書 6 業務の内容 (4) 児童等の世帯の生活上の相談支援事業 (5) 高校中退防止事業> (4) 「必要に応じて家庭訪問による直接的な伴走支援をすること」、(5) 「定期面談等の伴走支援を行うこと」とありますが、令和7年度を含め過去2年間における『家庭訪問による直接的な伴走支援』と『(高校中退懸念のある高校生に対する) 定期面談等の伴走支援』について、実施回数(世帯数)をご教示ください。 |
|-----|---|

| | |
|----|---|
| 回答 | <p>実施回数は下記のとおりです。</p> <p>『家庭訪問による直接的な伴走支援』</p> <p>令和6年度…173回</p> <p>令和7年度…122回（12月時点）</p> <p>『(高校中退懸念のある高校生に対する) 定期面談等の伴走支援』</p> <p>令和6年度…31回</p> <p>令和7年度…52回（12月時点）</p> |
|----|---|

| | |
|-----|---|
| 質問7 | <p><仕様書 7業務の具体的な実施方法（1）開設場所></p> <p>「対象地域の児童等が通いやすい場所にバランス良く拠点を設けて実施する（現行利用者の利便性を損なわないように最低15ヶ所設けること。）」とありますが、令和7年度事業において拠点が設置された市町村をご教示ください。また令和7年度事業において、オンライン会場の設置数（町村ごとなのか県内で数か所設置なのか）をご教示ください。</p> |
| 回答 | <p>令和7年度事業の拠点設置自治体は以下のとおりです。</p> <p>蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、色麻町、加美町、涌谷町、美里町</p> <p>また、オンライン会場については、会場に通うことが困難な対象者に、自宅などからのオンラインによる参加に対応するための会場を想定しています。</p> |

| | |
|-----|--|
| 質問8 | <p><仕様書 7業務の具体的な実施方法（4）支援する児童等の人数></p> <p>「1会場当たりの定員は20人程度」とありますが、現行利用者の利便性を損なわないような拠点設置、及び本事業において新規参加者だけでなく現行利用者の継続支援をより効果的に実施できるような提案作成のため、過年度事業（令和6～7年度）における以下の項目についてご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町村別の申込児童数 ・会場別の申込者数と平均参加児童数（出席率） ・会場別の支援員・ボランティアの平均配置人数 ・訪問支援の延べ実施回数と実世帯数 ・オンライン支援の申込児童数、平均参加児童数（出席率）と支援員及びボランティアの平均配置人数 |
|-----|--|

回答

以下のとおりです。

なお、会場別の支援員・ボランティアの平均配置人数、オンラインの支援員及びボランティアの平均配置人数については、事業者の創意工夫による企画提案を求めたい内容に関わることから回答を差し控えます。

【町村別申込者数】

| 在住町村 | 令和6年度 | | 令和7年度 | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| | 申込者数(人) | 申込者数(人) | 申込者数(人) | 申込者数(人) |
| 蔵王町 | 11 | | 5 | |
| 七ヶ宿町 | 0 | | 0 | |
| 大河原町 | 14 | | 16 | |
| 村田町 | 9 | | 8 | |
| 柴田町 | 28 | | 42 | |
| 川崎町 | 3 | | 3 | |
| 丸森町 | 1 | | 1 | |
| 亘理町 | 29 | | 25 | |
| 山元町 | 20 | | 24 | |
| 松島町 | 11 | | 9 | |
| 七ヶ浜町 | 22 | | 14 | |
| 利府町 | 23 | | 26 | |
| 大和町 | 12 | | 10 | |
| 大郷町 | 5 | | 7 | |
| 大衡村 | 8 | | 11 | |
| 色麻町 | 9 | | 7 | |
| 加美町 | 10 | | 11 | |
| 涌谷町 | 22 | | 22 | |
| 美里町 | 13 | | 14 | |
| 女川町 | 0 | | 0 | |
| 南三陸町 | 1 | | 1 | |
| 合計 | 251 | | 256 | |

※R7年度は12月時点の数値

【会場別及びオンライン支援の申込者数と平均参加児童数】

| | R6年度 | | R7年度 | |
|-------|---------|-------|---------|--------|
| | 申込者数(人) | 出席率 | 申込者数(人) | 出席率 |
| 蔵王 | 9 | 44.4% | 5 | 60.0% |
| 大河原 | 30 | 56.7% | 32 | 68.8% |
| 村田 | 8 | 62.5% | 8 | 37.5% |
| 柴田 | 20 | 55.0% | 29 | 69.0% |
| 亘理 | 27 | 44.4% | 24 | 45.8% |
| 山元 | 17 | 76.5% | 20 | 60.0% |
| 松島 | 9 | 88.9% | 9 | 77.8% |
| 七ヶ浜 | 20 | 45.0% | 13 | 30.8% |
| 利府 | 21 | 61.9% | 22 | 86.4% |
| 大和 | 14 | 71.4% | 11 | 54.5% |
| 大郷 | 10 | 80.0% | 11 | 54.5% |
| 色麻 | 8 | 87.5% | 9 | 66.7% |
| 加美 | 12 | 50.0% | 15 | 53.3% |
| 涌谷 | 20 | 60.0% | 21 | 61.9% |
| 美里 | 13 | 76.9% | 14 | 92.9% |
| 訪問支援 | 4 | 75.0% | 3 | 100.0% |
| オンライン | 9 | 77.8% | 10 | 70.0% |
| 合計 | 251 | | 256 | |

※R7年度は12月時点の数値

【訪問支援の延べ実施回数と実世帯数】

| | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|
| 実世帯数 | 4 | 3 |
| 実施回数 | 92 | 29 |

※R7年度は12月時点の数値

質問 9

<仕様書 7業務の具体的な実施方法 (5) 広報>

「パンフレット等を活用した広報を実施」とありますが、周知方法についてはどのような方法(個別郵送、学校経由、窓口配布等)を想定されているかご教示ください。またパンフレット等は何部配布予定かご教示ください。

回答

対象者が限定されるので、町村役場や保健福祉事務所等を経由して配布することを想定しております。

また、パンフレット等の必要部数は4,000部程度です。

質問 10

<仕様書 7業務の具体的な実施方法 (6) 町村との連携>

過年度事業において受託者が送迎支援を行っていたことと思いますが、本事業において参加者に実施場所までの送迎確保等の課題がある場合、受託者が送迎手段を確保しなければならない、という想定は必要かご教示ください。

回答

過年度事業において、受託者が送迎支援を行った実績はありません。

| | |
|-------|--|
| 質問 11 | <その他> 今年度及び過年度事業全般について、課題と感じられていることがあればご教示ください。 |
| 回答 | より多くの対象者を本事業につなげることが課題と感じています。 |

| | |
|-------|---|
| 質問 12 | <その他> 令和 8 年度から契約期間が 3 年間に変更されたのはどのような理由からか、ご教示ください。 |
| 回答 | 複数年度とすることで、より効果的な事業実施が期待できると判断したものです。 |